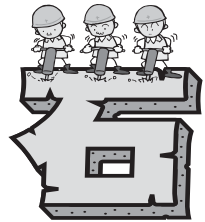




NO.125

島松軟石



旧島松駅通所近くの高速度路高架下に、現在も残る採石場跡



多くの人が利用する芸術文化ホールの正面玄関壁面に、島松軟石という石材が使われています。平成4年までJR北広島駅東口前にあった農業倉庫に使用されていた軟石を再利用したものです。

島松軟石は、支笏カルデラ（支笏湖を形成した火山）が活動していた約4万年前に噴出した火砕流（高温で噴き出した火山灰や軽石）が固まってできた溶結凝灰岩です。明治時代から昭和30年代後半頃まで市内の島松地区周辺で採取されていました。

軟石は加工しやすいため住宅や倉庫、サイロなどの建材として使われ、今も市内のあちこちで目にすることができます。軟石倉庫を再利用した飲食店もあります。まちを好きになる市民大学OB会の「島松軟石の建造物調査グループ」は、5年前に市内の建造



芸術文化ホール正面玄関壁面



エルフィンロードから見える天使の園のサイロ。上の部分に島松軟石が使われています

物を調査し、報告書にまとめました。その当時確認できたのは39カ所。昔はもっと多くの建造物がありました。コンクリート材が普及するにつれて、使われなくなっただけです。「石造りの建造物は、長い年月でも劣化しにくいため、昔のままの姿で残り、当時の暮らしや町並みを知る上で参考になります」とOB会の川名廣満会長。新たに見つかったり、取り壊されたりした建造物の情報を加えた報告書の改訂版を、現在準備中です。

太古の北広島の記憶を伝える島松軟石。貴重な歴史遺産を後世に残していきたいですね。

まめ記者

折り鶴集会



北の台小学校6年
舟崎春菜さん
(児童会長)

北の台小学校では、毎年7月に「折り鶴集会」を行っています。折り鶴集会では書記局が中心となつて、佐々木禎子さんのお話をします。全校児童が真剣にそのお話を聴いている姿が印象的でした。そして、平和への願いを込めて千羽鶴を折ります。折り鶴には平和を願うメッセージを一人一人丁寧に書いていくことも伝統になっています。折り鶴集会では、高学年が低学年の子たちに折り方を教えてあげるなど、交流する良い機会にもなっています。



願いを込めて千羽鶴を折ります

全校児童で折った千羽鶴は、8月に私が広島県に持って行きました。この折り鶴集会を通して、みんなに戦争と平和について考えてもらおうきっかけになればいいと思います。

*広島市への原子爆弾投下で被爆した少女。広島平和記念公園内にある「原爆の子の像」のモデル。